

# のぎく

＊  
第126号  
令和2年3月31日発行  
＊

編集人 機関誌編集委員

発行人

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069

E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/



## 令和元年度障害児等職業体験事業



### 目次

理事長あいさつ .....	2	第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 熊本大会に参加して .....	9
令和2年度 事業計画 .....	3	第58回近畿知的障害者福祉大会 .....	9
令和2年度 収支予算書 .....	4	地域自慢 in 芦屋市 .....	10
生活サポート総合補償制度 .....	5	(株)大黒商事様から寄附 .....	11
権利擁護委員会の活動 .....	6	九州北部水害、台風15号・19号等大規模災害義援金のお礼 .....	11
「あいすくりーむの家ができるまで」を受講して .....	6	令和元年度 賛助会員 .....	11
学齢期・本人活動支援部会(相談員研修会)に参加して .....	6	ゆく人くる人 .....	11
三田市より発信! .....	7	令和元年度 受章・受賞 .....	12
「親なきあと相談」を受講して .....	8	編集後記 .....	12
(株)エスコアハーツを視察して .....	8		

## 備えよう、 親亡き後は親あるうちに



公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会  
理事長 井上 三枝子

### \* 災害に備える

阪神・淡路大震災から25年が経過しました。その後も日本列島では東日本大震災、熊本地震等の大震災が発生し、また、台風等により今までに経験したことのない風雨による災害が次々と発生しています。その都度亡くなった方、被災された方も多く、私達は災害と隣り合わせであることを再認識し、これからは更にいつ何があっても安心でいられる最大限の準備をしなければなりません。

震災から25年という節目の令和2年の近畿知的障害者福祉大会は、「巨大地震に備える～知的障害のある人のいのちを守る～」というテーマで11月21日(土)に兵庫県尼崎市で開催することになりました。災害について改めて考えるきっかけになると思いますので沢山の方のご参加をお待ちしています。また、県育成会では災害時に役立つマニュアルを作成しデータで送付しますので各地区でアレンジし活用頂ければと思います。

### \* 親亡き後は親あるうちから

今年度から財産管理、遺言、相続、成年後見人の役割などについての研修会と個別相談を併せ持つ、出前講座「専門家による親なきあと相談」を実施することになりました。今年度は、第1回洲本市と第2回猪名川町で行いました。地域によって環境や地域との関わりが違い、そして困りごとや問題点も違います。弁護士の先生から直接アドバイスを受けることができ参加された方からは気兼ねなく相談でき、将来について具体的なヒントをもらえたという声が届いています。また、県育成会では親亡き後の安心のための「引き継ぎ

ノート」を作成しますのでこちらの方も活用して下さい。

### \* 障害基礎年金学習会

育成会が特別支援学校を中心に長年行って来た「障害基礎年金学習会」が全国に広がりつつあります。年金学習会は、小原前理事長がご自身の息子さんの体験をもとに年金の支給状況を調査したところ「障害基礎年金の更新時に等級が変わり年金が減額した」「年金を受け取れない」というケースが判明したことから始まりました。年金学習会は、年金を受け取る20歳になってあわてないように高等部の時から準備をするための学習会でサポート協会と共催で行っています。全国の育成会でも今年の権利擁護フォーラムで取り上げ、その後アンケートを実施する予定です。年金は障害のある人にとって大事な生活の糧です。兵庫県が10年前にスタートした年金学習会が全国に広がることを嬉しく思いますと共に障害のある人たちの暮らしが更に豊かに充実したものであることを望みます。

### 新コーナー

#### \* ○○市(町)発信

兵庫県では各自自治体、育成会それぞれ独自の取り組みも多くあります。そこで今回の『のぎく』から他の地域にも広げることが出来るような特色ある活動を「○○市(町)発信」と名付け掲載することになりました。初回は三田市の取り組みです。わが街にはこんな良いサービスがある、育成会でこんな取り組みをしているという情報がありましたらぜひご一報ください！



# 公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 令和2年度事業計画

## I 基本方針

法施行後も知的障害者への虐待は後を絶たず、引続き権利擁護と共生社会の実現を目指し、理解促進のための啓発活動を県下各地で着実に進めていくことが重要である。

一方、会員の高齢化と会員減少という組織的危機を前にして、若い親への加入働きかけや時代に即応した事業推進など、組織の活性化と存続への取組みが急務となっている。

令和2年度は、これらを踏まえ、「知的障害者の権利擁護」を重点目標とし、疑似体験啓発活動、障害基礎年金学習会、親なきあと相談、障害児等職業体験事業等を実施するとともに、本会が担当し「第59回近畿知的障害者福祉大会」を開催する。

今後とも、県下各地区育成会、全国や近畿の育成会組織と緊密に連携し、活動の質的充実と組織運営の安定化を図っていく。

## II 主要事業

### 1 知的障害者に関する研修

#### (1)権利擁護委員会活動

権利擁護に関する研修会の開催や先進的施設の調査等を実施するほか、必要に応じ行政・関係団体との連絡調整、行政への要望活動等を行う。

#### (2)専門部会活動

「地域生活・高齢化対策」、「就労支援」、「施設・事業所」、「学齢・本人活動支援」の4部会において、特定課題について研修会等を開催する。

#### (3)障害基礎年金学習会

本人の障害基礎年金の受給漏れ等が出ないよう、特別支援学校において障害基礎年金の申請手続き等に関する学習会を開催する。

#### (4)成年後見制度利用促進講座

家族や支援者等が成年後見制度や各種生活支援サービス等について理解を深める講座を開催する。今年度から講座日程を従来の4日から1日に短縮して開催する。

#### (5)障害児等職業体験事業の実施

職業型テーマパーク「キッザニア甲子園」を借上げ、職業体験事業を実施し、働くことの大切さを学び、未来の夢を育む機会を提供する。

### 2 知的障害者に関する普及・啓発

#### (1)第59回近畿知的障害者福祉大会(第64回兵庫県知的障害者福祉大会併催)の開催

「巨大災害への備え」をテーマとし、知的障害者への情報提供や避難支援のあり方、平時からの心構え等について理解を深め今後の実践に活かす。併せて近畿地区に集う会員の相互交流を図る。今年度は近畿大会併催となるため、県育成会理事長表彰及び感謝は実施しない。

#### (2)疑似体験啓発活動の推進(ひょうご“つなぎ隊”)

各地区の疑似体験啓発活動団体の取組みを広く発信するとともに、新たな活動団体の立上げや現活動の充実を支援するため助成等を行う。

### 3 知的障害者に対する支援

#### (1)知的障害者への相談

育成会役員が本人や家族等の様々な悩みや困りごと、直面する課題等について相談に応じる。

#### (2)専門家による親なきあと相談

親なきあとの準備を支援するため、重要課題のひとつである、「財産管理の仕方」(信託、遺言、成年後見、相続等)について、専門家(弁護士)が地域に出向いて相談を行う。

#### (3)地域生活援助者養成講座の開催

知的障害者がグループホーム等で安心して生活できるよう、グループホーム支援員等のスキルアップ向上のための一連の講座を開催する。

### 4 育成会の組織運営

#### (1)全国・近畿育成会との連携

全国手をつなぐ育成会連合会や近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の活動に積極的に参画し、そのノウハウや最新情報等を本会活動に活かす。

#### (2)会長会等の開催

会長会や地区会長懇談会等を開催し、会員二一スの把握、地域課題の発掘と共有化を図り、課題解決に向けた効果的な事業推進につなげる。

#### (3)兵庫県等への要望

制度政策を通じた障害福祉サービス等の向上に向け、兵庫県や国に対し予算要望を行う。

#### (4)ホームページのリニューアル

会員等が必要とする情報が迅速に得られるよう、ホームページを全面的にリニューアルする。

### 5 育成会改革プランの推進

本会が直面する組織的課題(会員の高齢化、会員減少等)に対応するために策定した、「育成会改革プラン」(平成30年3月)を着実に推進し、組織の存続と安定化を図る。

## III 具体的な事業内容

### 1 公益目的事業

#### (1)知的障害者に関する研修

[県育成会]

①権利擁護委員会活動(権利擁護に関する研修、連絡会議等)

②知的障害者相談員研修会 3回

③専門部会活動

ア 地域生活・高齢化対策部会

イ 就労支援部会

ウ 施設・事業所部会

エ 学齢・本人活動支援部会

④障害基礎年金学習会 特別支援学校 4校

⑤成年後見制度利用促進講座 1箇所

⑥障害児等職業体験事業

キッザニア甲子園(西宮市)

⑦ブロック別保護者研修会 県下9ブロック

⑧社会参加支援事業 県下9ブロック

[全国手をつなぐ育成会連合会]

①全国大会 令和2年10月3日(土)~4日(日)  
愛媛県松山市

- ②全国育成会連合会・権利擁護セミナー
- ③事業所協議会全国研修大会  
〔近畿手をつなぐ育成会連絡協議会〕
- ①第59回近畿知的障害者福祉大会（再掲）
- ②近畿リーダー養成研修会  
令和2年9月8日（火） 滋賀県
- 〔各種大会〕
- ①福祉の集い
- ②賀詞交換会
- ③兵庫県社会福祉大会  
令和2年11月13日（金） 養父市
- (2)知的障害者に関する普及・啓発
- ①第59回近畿知的障害者福祉大会  
（第64回兵庫県知的障害者福祉大会併催）  
令和2年11月21日（土） 尼崎市
- ②疑似体験啓発活動の推進  
〔活動団体 10団体〕
- 尼崎市「まんまるはーと」
- 西宮市「輪・和・WA」
- 伊丹市「ぱずる」
- 宝塚市「宝塚すみれ隊」
- 川西市「ハンドinハンド」
- 三田市「はあ〜とポケット」
- 猪名川町「いなキャラ」
- 明石地区「まねっこ隊」
- たつの市「ピーす&ピース」
- 南あわじ市「おひさま隊」
- ③兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会
- ④兵庫県障害者芸術・文化祭  
【舞台部門】 たつの市  
【作品展】「兵庫県立美術館」（神戸市）

- ⑤知的障害者就労表彰（理事長表彰、知事表彰）  
一般企業等で10年以上又は20年以上就労された方への表彰
- ⑥機関誌「のぎく」の発行 年2回
- (3)知的障害者に対する支援
- ①知的障害者への相談
- ②専門家による親なきあと相談 2地区
- ③地域生活援助者養成講座
- ④在宅重度障害者生活環境改善資金貸付事業  
100万円以内 無利子

2 収益事業

- (1)全国育成会連合会・機関誌「手をつなぐ」助成金の地区還付
- (2)「心のとも運動」還元金の地区還付
- (3)国庫補助事業助成事務

3 育成会の組織運営

- (1)評議員会の開催 年2回（定例）
- (2)理事会の開催 年3回（定例）
- (3)三役会の開催 月1回
- (4)会長会の開催 年2回
- (5)地区会長懇談会の開催 県下各ブロック
- (6)専門部会役員会の開催
- (7)兵庫県等への予算要望
- (8)ホームページのリニューアル

4 育成会改革プランの推進

令和2年度収支予算書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

（単位：円）

科 目	合 計	事業会計
I 経 常 収 益		
基 本 財 産 運 用 益	69,200	69,200
特 定 資 産 運 用 益	57,600	57,600
受 取 会 費	8,380,000	8,380,000
賛 助 会 費	600,000	600,000
事 業 収 益	2,880,000	2,880,000
受 取 補 助 金 等	14,720,000	14,720,000
受 取 負 担 金	2,557,000	2,557,000
受 取 寄 付 金	0	0
雑 収 益	540,000	540,000
経 常 収 益 計	29,803,800	29,803,800
II 経 常 費 用		
事 業 費	27,044,807	27,044,807
管 理 費	2,758,993	2,758,993
経 常 費 用 計	29,803,800	29,803,800
当期一般正味財産増減額	0	0
一般正味財産期首残高	6,198,439	6,198,439
一般正味財産期末残高	6,198,439	6,198,439

# 知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

## 主な補償内容

病気やケガで入院したとき  
入院給付金

賠償責任を負ったとき  
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき  
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金  
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき  
弁護士費用等補償  
※プランによって補償します

病気で死亡したとき  
疾病葬祭費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき  
職業従事中事故対応費用補償  
※プランによって補償します

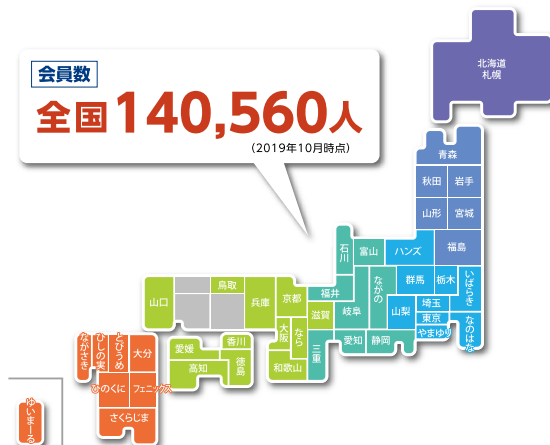
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

## 生活サポート総合補償制度の主な特長

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

## 生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

### 保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
ジェイアイシーウエスト 株式会社  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-1  
OCT 7階  
TEL: 06-6941-5187 FAX: 06-6944-1728  
受付時間: 午前9時~午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
AIG損害保険株式会社  
https://www.aig.co.jp/sonpo  
大阪プロチャネル営業部  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階  
TEL: 06-7223-2010  
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

### ご入会のお問合せはこちら



## 権利擁護委員会の活動



権利擁護委員会では、福岡市社会福祉事業団「障がい者地域生活・行動支援センター」所長の森口哲也氏を招き、令和元年9月5日(木)、兵庫県福祉センターにおいて「強度行動障害を有する人への支援に関する研修会」を開催したほか、同年12月10日(火)には「兵庫県立こども発達支援センター」(明石市)への視察を行い、こどもの発達障害支援(診療、療育、相談、市町支援等)に取り組む兵庫県の中核施設の実情を把握した。

## 「あいすくりーむの家ができるまで」を受講して

施設・事業所部会

部会長 近野 一弘

この度の施設・事業所部会での講演会「あいすくりーむの家ができるまで」を受講させていただき、障害のある方が高齢になってからも、あたたかいサポートを受けながら最後まで人として生活していけることの幸せを感じました。また“あいすくりーむの家”が創設されるまでや開設されてからの1年の間、お二人の利用者さんを送られて管理者の奥山智子さまをはじめ職員の皆様のご苦勞や、いつも家族同様に利用者さんやその家族に接せられていることが、大変よく分かりました。きっとこの施設に入所された方やそのご家族は幸せだろうと思われました。これからこのような施設が、全国・兵庫県下にたくさん出来ることにより、それぞれが高齢者になってからも幸せに生きていけることを望みました。



また講演会の後半の質疑応答では、受講者から講演内容以外のいろんな質問に快くお答え下さり大変勉強になりました。『8050問題』は、障害がある者や保護者の高齢化問題は、手をつなぐ育成会だけでなく障害者やその家族のすべての者にとって、大きな問題であることを実感し、自分を含めて、未だ若年層の方々が『8050問題』や『親なきあと』を身近に感じていないことを身をもって知ることができました。

## 学齢期・本人活動支援部会(相談員研修会)に参加して



公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 常務理事 内海 育子



令和元年10月29日 兵庫県福祉センターにおいて県下各地より48名の参加があり、講師にひょうご発達障害者支援センターの橋本美恵氏をお迎えして「発達の気になる子の『できた!』が増えるトレーニング～心を育てる療育～」と題してご講演いただきました。

療育の主軸は家庭であり手塩にかけ育てて社会に出して行くことを具体的な療育方法や相談員としての例を出しながらとてもわかりやすくお話していただきました。家庭療育の柱は家事・体づくり・課題学習であり、特に家事は生きる力をつけ、みんなが助かる人の役に立つという心を育てるものだと思います。また、本人がどんな思いでその行動に立ったのかを考え自尊心を傷つけない、子ども扱いせず一人の人間として尊厳をもって接することの大切さを学びました。

子どもが社会で生きていけるように一貫性を持って厳しく・優しく育てていきたいと思ひます。

三田市より発信！

NPO 法人三田市手をつなぐ育成会

理事 三木 尚美

### 三田市では“共生の社会”を目指す取り組みがすすめられています。

三田市障害を理由とする差別をなくしすべての人が共に生きるまち条例  
(三田市障害者共生条例)が施行されました！(平成30年7月より)

ポイント ① 幼少期から障害に対する理解を促進 ② 対応は市内全ての人が対象

選挙での合理的配慮：意思表示の難しい方への支援ツールとして「コミュニケーションボード」が用意されています。投票場では、候補者の情報を選挙公報などで確認してから投票することもできます。

コミュニケーションボード

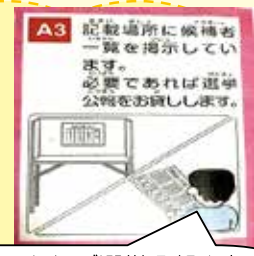
<例>



提供：三田市選挙管理委員会事務局



候補者がわかりません



必要であれば選挙公報をお貸しします

### 「共生社会推進プログラム～障害のある人と共に～」(概要版 令和元年11月)

平成30年の障害者虐待事件の検証結果を受けて立ち上げられた三田市障害者共生協議会の報告書を踏まえ、行政の担う役割として次のようなプログラムがまとめられました。

#### 1 市役所の取り組み

- 市役所での障害者雇用推進
- 多様な相談方法の整備
- 障害のある人への理解推進 他

#### 2 小・中学校の取り組み

- 合理的配慮促進のためのサポートセンターの設置
- 意思疎通のためのIT機器の配備 他

#### 3 地域との取り組み

- 地域のイベント参加のための環境推進 ●農業と福祉の連携
- 市内各地でグループホームの設置を促進する仕組みづくり 他

### “施設・団体等連絡会”で情報を共有しながら地域参加を進めています！

市内にある障害者施設や当事者団体・事業所が情報発信しながら、社会福祉協議会や行政とともに課題を共有し、交流することで理解を深め合い、地域参加を目指す取り組みとして活発に活動しています。

今年度の主な活動：

- ・障害者週間イベント啓発物(さんだ まちかど福祉地図)作成
- ・10ヶ所の施設・事業所の見学会(お互いに理解を深めるため)
- ・障害者週間の実行委員会を有志で作り、イベントを開催(11月30日)



さんだ まちかど福祉地図は、市民が身近にある施設・事業所を知るための冊子です。地図で場所がわかりやすく、気軽に見学の予約をすることもでき、とても便利です。



障害者週間イベントは、市内障害者施設・団体等の有志が市と協力し合って開催！育成会は疑似体験ブースを担当しました。



## 「親なきあと相談」を受講して

洲本市手をつなぐ育成会

会長 川淵 悠子

私の息子は、この春高校を卒業し、社会人になろうとしています。そのタイミングの中、長年気にかけていた不安と、今回の講義内容が重なったので、夫と共に受講させていただきました。講演の内容は、『親亡き後の準備 財産管理について』(1)親亡き後に生じる問題 (2)事前準備の方法 (3)成年後見人制度の利用方法を、弁護士の福島健太先生が、大変分かりやすく説明してくださいました。

「親が急にいなくなっても、信頼できる支援者をつながっていれば何とかなっているよ」「親の不安は、どれだけ準備しても尽きないので、必要なことを把握して、予め対応しておくことが大切だよ」など、たくさんの子と親を支援しておられる先生から教えていただき、今後の私達の生活に大きな希望を感じることができました。また、力のある講師先生とのつながりもできたと思っていますし、とても嬉しかったです。これからは親だけではなく、妹や弟、地域の信頼できる支援者をつなぎ、一緒に息子をサポートし、成長を見守っていききたいと思います。

今回、お世話いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。



## (株)エスコアハーツを視察して

就労支援部会

部会長 立花 典子



令和元年12月19日(木) ㈱エスコアハーツ(特例子会社)の視察を参加者17名で実施しました。「企業型の障がい者福祉モデルを目指す」の理念の下、「障がい者も一人の社会の一員。活躍する場は必ずある。」と、障がい者だけで運営しているライン、内容の見える化、バーコード読み込みによる確認作業の工夫、彼らのモチベーションを上げるための工夫等、様々な取り組みをされていました。お話を聞くだけではなく、実際に障がい者が生き生きとプライドを持って働いている現場を見学できたことはとても良い経験になりました。私たち親や支援者が、出来ないことを出来るようにする為の、支援の仕方・工夫の参考になったのではないのでしょうか？

見学会を快くお引き受けいただいた、㈱エスコアハーツ様に感謝！！！！！！



## 第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 熊本大会に参加して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長 田中 文江

3年前の地震で大きな被害を受けた熊本県が、まだ復興途上にもかかわらず熊本県育成会のご尽力により、こけら落とし前の熊本城ホールにて、令和元年11月23日(土)～24日(日)「一人ひとりを認め合う社会の実現」～熊本のこころを全国に～を大会スローガンに全国各地から2300人以上の参加者を集め、2日間にわたり有意義な研修で大いに盛り上がりました。

初日の分科会は 1 育つ・学ぶ 2 働く 3 暮らす 4 権利擁護 5 地域育成会の活性化と5つの分科会があり、私はその中で第2分科会に参加しました。

基調講演は、横河電機株式会社の箕輪優子さんが「生涯学習と多様な働き方」と題して 障害者雇用を通じて、障害のある社員も雇用する人も共に成長し続けるために取り組まれたことを、成功例や上手くいかなかった例を交えて話され、「誰かの役に立つこと、働くことの楽しみが実感できる職場」がいかに大事かということを再認識しました。

2日目の全大会の記念講演は「幸せの企画術」と題して、放送作家・脚本家で熊本県のPRキャラクター「くまモン」の生みの親でもある小山薫堂氏の講演でした。「料理の達人」「カノッサの屈辱」「おくりびと」… 数多くのテレビ番組や映画を企画された小山氏のお話は大変興味深く聞き入りました。中でも、仕事をする上で①その仕事は新しいか？ ②その仕事は楽しいか？ ③その仕事は誰を幸せにするのか？の3つのうちひとつでも当てはまればやる！ひとつも当てはまらなければやってはいけない！！と話されたのが印象的でした。

大会に参加して、熊本復興の底力と本人大会のスローガンでもある「助け合い 励ましあってつなごうばい」に活力をもらいました。



## 第58回近畿知的障害者福祉大会

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長 近藤 眞由美

「考えよう！本人の高齢化、親の高齢化」というテーマで、近畿知的障害者福祉大会が、神戸文化ホールで開催されました。以前から、知的障害者の高齢化に対応するための支援方法の確立や、調査研究に取り組んでこられた「国立のぞみの園」の実践をお聞きしました。

「入所施設で幸せに」から「地域で暮らす」へと国の方向性が変わり、入所施設は終の棲家ではなくなりました。暮らし方はそれぞれでも、どんなに重度でも、どんなに高齢になっても、親にできることは、一緒にいる間に愛情と思い出を残してあげることだと感じました。

午前中は、本人大会の「権利擁護」のトークグループに参加しました。みんなの意見を聞きながら、子どものことを思っているつもりの親の言動が、実は権利侵害をしているな…という気づきも多くあり、こちらこそ、貴重な学びの場となりました。



## 地域自慢 in 芦屋市

芦屋市手をつなぐ育成会  
松永 真弓

神戸市と西宮市に挟まれた芦屋市は、人口9万5千人ほどの小さな町ですが、知名度は高く、「おしゃれな町、セレブの住む町」というイメージで全国的に知られている様です。芦屋市は、交通の便がよいこと、又、海と山に囲まれ、緩やかに南に傾斜する地形により気候が温暖で風光明媚な町で、住宅地として発展してきました。北部や中部には高級住宅地として名高い地域もあり、南部は谷崎潤一郎の「細雪」の舞台にもなっています。

芦屋市には、重度・重複障がい児の教育が就学猶予という名のもとに認められていなかった昭和の初期に、三田啓博士により設立された三田谷治療教育院（現在の社会福祉法人三田谷治療教育院）が今も芦屋市の障がい児者の福祉の先達としての役割を果たしています。そんな土地柄なのか、1979年に養護学校の義務化される以前の1960年代前半には市内の公立小学校に障がい児学級（当時は特殊学級とか、担任の先生の名前で〇〇学級と呼ばれていました）が設立され、運動会などの行事では一般児童との交流も行われていました。

堅い話とはもかく、芦屋にはおしゃれなレストランや、おいしいパンやケーキのお店もたくさんあります。いちど、ランチに来られてついでに芦屋川から望む六甲山の景観を楽しんでみてください。

また芦屋市手をつなぐ育成会では本人の余暇活動を支援するために、2010年から毎月第4日曜日にふうせんバレーを、2016年から毎月第2日曜日に音楽ひろばを開催しています。ふうせんバレーは障害者スポーツ指導員4、5名の指導のもと、試合形式で熱戦を繰り広げます。音楽ひろばは音楽療法士の指導のもと、歌を歌うだけでなくハンドベル、ウクレレ、カホン等色々な楽器を演奏したり、パプリカダンスを踊ったり、それをみんなの前に出て発表したりと色々な体験をしながら音楽を楽しんでいます。どちらも毎回、会の内外から10数名が参加します。市外の方にもご参加いただけますので、こちらにも是非是非お越しください。お待ちしております！



芦屋川の桜



音楽ひろば



ふうせんバレー



### 大黒商事様から寄附

令和元年10月1日、株式会社大黒商事様から知的障害のある人への支援として金12万円を寄附していただきました。大黒商事様には平成21年から毎年コピー機の売上金の一部を寄附していただいています。会社を挙げた温かいご支援に心より感謝申し上げます。



### 九州北部水害、台風15号・19号等大規模災害義援金のお礼

令和元年度は全国的に大規模災害が連続して発生し、被害を受けられた方々を支援するため、会員の皆様に義援金のご協力をお願いしたところ、80万円が集まりました。これらご厚志については令和2年1月8日付けで全国手をつなぐ育成会連合会へ送金いたしました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

### 令和元年度 賛助会員

(順不同)

井上 三枝子	尼崎市	谷本 靖子	明石市	田野 哲夫	美方郡
大前 繁雄	西宮市	廣橋 岳登	明石市	谷 雅博	南あわじ市
野村医院	芦屋市	ミナト歯科医院	明石市	ジェイアイシーウエスト(株)	大阪市
久米 利津子	芦屋市	神沢クリニック	三木市	根来 厚子	京都市
松井 美弥子	宝塚市	埜崎 太宗	多可町	デジタルグラフィック(株)	神戸市
大野 セツ子	宝塚市	まねき食品(株)	姫路市	松岡産婦人科クリニック	神戸市
上坂 秀昭	川西市	田淵 聡子	たつの市	あい保育園	神戸市
坂本 寿子	川西市	稲田 武利	たつの市	匿名	神戸市
(株)丹波屋	三田市	溝口呉服店	たつの市	妹尾 昭吾	神戸市
(株)丸優	三田市	澁川 壽彦	相生市	ちえの友鉛筆(株)	東京都
村上 友江	明石市	前田 智子	赤穂市		

#### ゆく人 くる人

前事務局長 吉田 裕明

育成会で5年。いろんな方々と出会い、いろんな人生訓を学びました。このご縁にただ感謝するばかりです。課題山積ですがあとは志ある人々に託します。ピンチをぜひ希望に。大任を終え明日からスローライフに移ります、社会との接点を忘れずに。地域から育成会の行く末を見守り応援しています。さあ、青きふるさとへ。

新事務局長 田中 千雄



皆さまはじめまして、新しく事務局長に就任させていただきます田中千雄たなかです。

私は現在65歳、高齢者の仲間入りをしましたが、これからは「生涯現役」を目指して、全力投球しようと考えていますので、よろしく願いいたします。



# 令和元年度 受章・受賞

おめでとうございます。会員の皆様と共に祝い申し上げます。  
今後ますますのご活躍をお祈りします。



矢野 一隆  
(たつの市手をつなぐ育成会 会長)

◆ 第6回全国手をつなぐ育成会連合会  
全国大会 熊本大会



三木 尚美  
(公益財団法人兵庫県手をつなぐ  
育成会 副理事長)



浅山 みゆき  
(一般社団法人宝塚市手をつなぐ  
育成会 会長)

◆ 第68回 兵庫県社会福祉大会

## ◆ 第68回兵庫県社会福祉大会知事表彰 (障害者自立更生者)

氏名	住所	勤務先
樋口 誠	尼崎市	ヤマト運輸株式会社
市明 久	尼崎市	株式会社ポオトデリカトオカツ
浦山 清次	尼崎市	イオンリテール株式会社イオン尼崎店
堀 貴士	西宮市	エルホーム芦屋
竹村 広造	西宮市	有限会社中島物産
箕田 健	西宮市	エム・シーシー食品株式会社
北川 晶三	伊丹市	村田興産株式会社
土山 まさる	宝塚市	株式会社マニックス 宝塚店
松田 政史	加古川市	神戸大学附属特別支援学校
黒田 晃志郎	加古川市	株式会社ジョイックスコーポレーション
矢野 禎子	加古郡播磨町	信和工業株式会社
尾崎 美弥子	美方郡新温泉町	介護老人保健施設 ささゆり

## ◆ 第15回兵庫県障害者芸術・文化祭【障害者福祉大会】就労表彰

氏名	住所	勤務先
小寺 宏治	尼崎市	全協食品加工有限公司

《10年表彰》

氏名	住所	勤務先
山畑 忠士	尼崎市	伊藤ハム株式会社
島端 勇典	宝塚市	株式会社ケー・シー・エス
義平 凌	宝塚市	ケーキハウス ツマガリ
小林 敬明	小野市	ネクスト・ゴルフ・マネジメント株式会社

**編集後記** 東京2020オリンピック・パラリンピックの年で、気持ちが盛り上がっていた矢先、コロナウイルス!! 初めて聞くコロナウイルスがあっという間に拡散。いろんなイベントが次々と中止、全国の学校が休校になる一大事。早く終息してほしいものです。(F.T)